社会資本総合整備計画(第4回変更) 賑わいの都市部エリア再構築

> 令和2年 3月 13日 長野県 駒ヶ根市

	クセか			川部エリノキ																	生からり	内家の図目	
	の期間 の目標		平成26年度	~ 令和5	元年度 (6年間)				交付対象		長野県 駒	可ケ根市											
	大目標: 小目標① 小目標②	: 保育園 : 交通網	と子育て世代 の整備による	弋活動支援セ る交通利便性	のにより、中心拠点 マンターの整備によ との向上を図るとと に暮らせるまちづく	る新たなもに、な	よ都市機能の充実 は行者にとって優	そを図る。	空間の充実を図	る。													
計画	の成果目	,							()	/ :	`												
	・都市再生 ・地域住」 ・地域住	生整備計 ミアンケ ミアンケ	画区域の子育 ートの「安卓 ートの「地域	育て世代活動 ひして子ども 或に安心でき	できる支援が整っ か支援センターの利 かを預けられる環境 る防災の仕組みが	用者数を がある」 ある」と	と 0人/年(H25) という満足度を いう満足度を	を5,00 2 3.07Pt	0人/年(H31) (H23) を 3.3	34Pt (H31)	.)												
					E度の平均値 43,2 Eの平均値 3,150/																		
定量的指標の定義及び算定式 による による による による による による による にんしゅう にんしゅう にんしゅう にんしゅう にんしゅう にんしゅう にんしゅう はんしゅう にんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう にんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう にんしゅう はんしゅう はんしゅん															*** ±								
					•								当初現況値			最終目					用 写		
Г	1-1 駒 ヶ根	市市民港	ま見 声調本に	上り「安心	して子育てできる5	方揺が敕	っている」の港	見座を質り	Liする				(H26当初)	(H2	9末)	(H31)	末)	当初現況	!値の基	準年度			
	「安心	して子育	てできる支持	爰が整ってい	いる」の市民満足度 る年間利用者数を算	ポイン)	(pt)	足反で 昇!	П λ Д°				3.11 p	t :	3.21 pt	3	.32 pt	1-1 H23	3				
	子育て	世代活動	支援センター	ーの利用者数	女(人数/年)								0 人/年	₤ (0 人/年	5,000	人/年	1-2 H25	5				
	2-1駒ヶ根市市民満足度調査により「安心して子どもを預けられる環境がある」の満足度を算出する。 「安心して子どもを預けられる環境がある」の市民満足度ポイント (pt)												3.07 p	t	3.20 pt	3	.34 pt	1-3 H23	3				
3-1駒ヶ根市市民満足度調査により「地域に安心できる防災の仕組みがある」の満足度を算出する。 「地域に安心できる防災の仕組みがある」の市民満足度ポイント (pt)												3.15 p	t	3.19 pt	3	.30 pt	3-1 H23	3					
地域交流センター整備による年間利用者を算出する 公民館年度利用者延べ数を H24~H28年度の平均値 43,233人を維持する。													41, 703		χ.	43, 23	3人/年	地域交流	Н23				
社会福祉施設整備による年間利用者数を算出する															, ,					1100 Till			
つくし園への通所者延べ数を H24~H28年度の平均値 3,150人を維持する。 A 1,000 0												~~!!!	3, 150)	- 1	→ 八 効果促i	3,15 進事業費の		つくし園	H24^		0.00/		
3	全体事業費	(+ C + D)	2,829.9 百万円	А	2,805.0 百万円	В	百万円	С	24. 9	百万円	D	百万円	C/ (A	+B+C	(+D)			. 88%			
交付対象	事業																						
A 基幹	事業																						
番号	事業	地域	交付	直接	事業者			₹となる事			事業内	勺容	市町村名		事業	美実施期 間	引(年度	更)		全体事業費	費用便益比	個別施設計画	備考
	種別	種別	対象	間接	学 术日			(事業箇所	r)		(延長・面	面積等)	114-1415	H26	H27 H28 H29 H30			H30	H31	(百万円)	X/11 (X.III./C	策定状況	
	都市再生 整備計画 事業	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市		賑わいの都市部エ	リア地区都市	「再生整備計画事業	高次都市 中心拠点	点誘導施設		駒ヶ根市							2, 805. 0	1. 11		B/Cは中 心拠点 誘導施 設つく
	尹禾									地域生活	舌基盤施設												し園
			<u> </u>							<u> </u>]	∆ ∌i.				9 905 0			
B 関連	社会資本	救 借重型														合計				2, 805. 0			
番号	事業	正備事業 地域	交付	直接	事業者		ਜ ਜ ∃	まとなる事	* 坐 夕		事業内		市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費			備考
留 万	種別	種別	対象	間接	尹 栗白		安州	くこなる事	·未名 	(延長・面積等)		川町刊名	H26	H27	H28	H29	H30	H31	(百万円)	費用便益比	策定状況		
																合計							
釆旦	休的//~·	主体十2	- レ1- ト n t	担待それてお	h 甲.											口印		ı			備考	<u> </u>	
番号	一作的に	た 他 り る	ことにより非	サ付されるダ	77.未																1佣 与		
																					•		

C 効児	具促進事業															
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名		事	業実施期	間(年月	复)		全体事業費	備考
ш 7	種別	種別	対象	間接				港湾・地区名	H26	H27	H28	H29	H30	H31	(百万円)	
1-C-1	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市	駒ヶ根駅前広場計画策定	交通結節と駒ヶ根駅前広場計画策定	駒ヶ根市							4.1	
1-C-2	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市	無電柱化に伴う広小路沿道街並み計画策定	街並み計画策定	駒ヶ根市							4. 2	
1-C-3	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市	まちづくり計画調査	持続可能なまちづくり計画調査	駒ヶ根市							12.9	
1-C-4	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市	都市機能施設等評価分析に関する調査	都市機能施設等分析に関する調査	駒ヶ根市							3. 7	
		-		-	•		-				合計	-			24. 9	
番号 一体的に実施することにより期待される効果													備考			
1-C-1 (1-A-1) と一体的に実施することにより、歩行者にとって優しい歩行空間の形成への効果が期待できる。																
1-C-2 (1-A-1) と一体的に実施することにより、活力と賑わいあふれるまちづくりへの効果が期待できる。																
1-C-3 (1-A-1) と一体的に実施することにより、活力と賑わいあふれるまちづくりへの効果が期待できる。																
1-C-4	(1-A-1)	と一体的	りに実施する	ことにより.	、都市機能の集約に向け7	と都市機能施設等の整備への効果が実現でき	さ る。									
D 44	>次+動性	田海小地	籍整備事業													•
	事業	地域	交付	直接		要素となる事業名	事業内容	T	1	事業実	施期問	(年度)			A (1	備考
番号	種別	種別	対象	間接	事業者	(事業箇所)	(面積等)	市町村名	H26	事 未入 H97	H28	H29	Н30	H31	全体事業費 (百万円)	かっ
	1里刀门	1里刀门	八多	印汝		(爭未回///)	(四很分)		1120	1121	1120	1123	1150	1101		
												1				
						1	1		<u>I</u>		合計	ļ		 		

交付金の執行状況

番号 一体的に実施することにより期待される効果

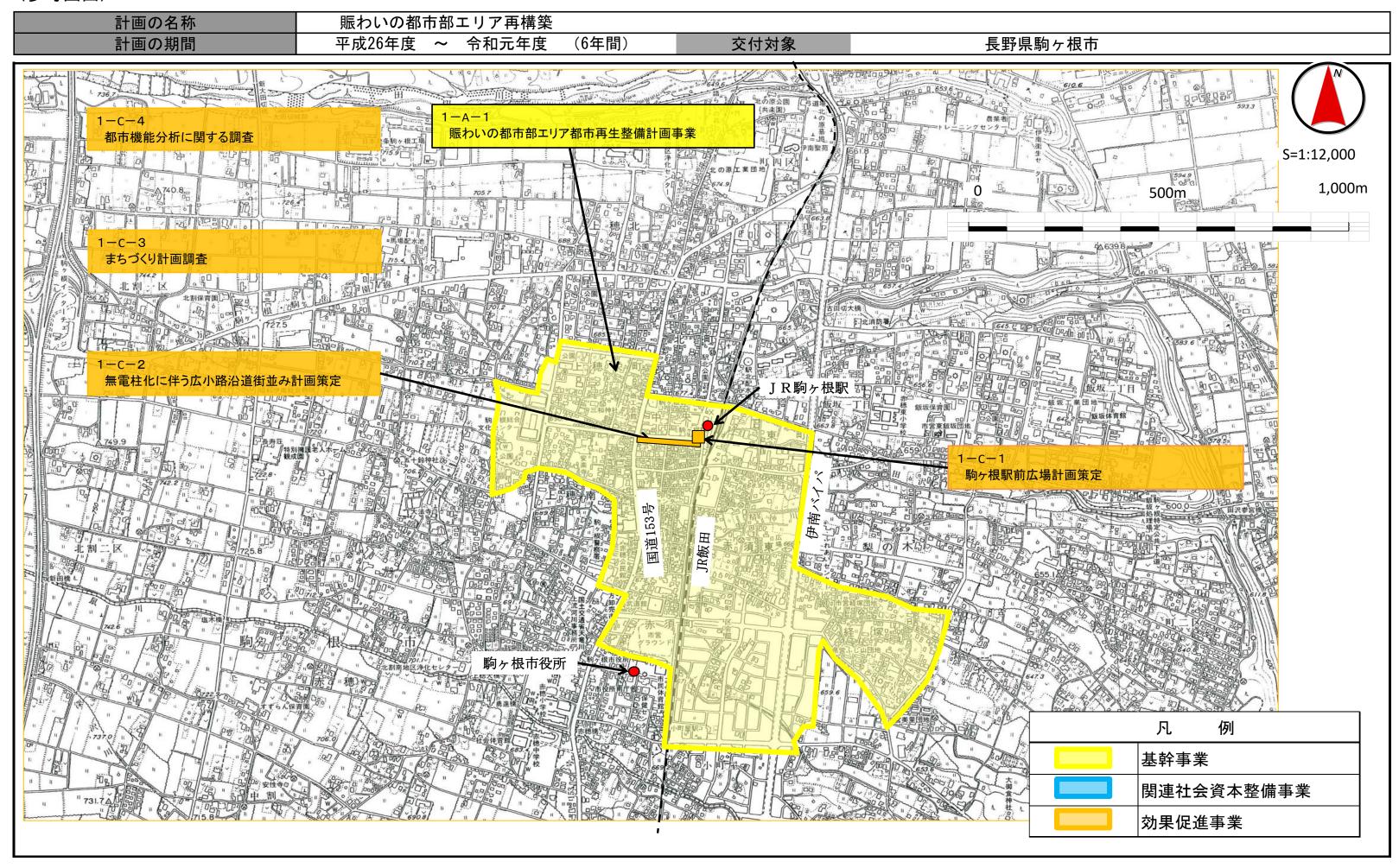
(単位:百万円)

備考

	Н26	H27	H28	Н29	Н30	R1
配分額 (a)	13	408	34	0	233	713
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	13	408	34	0	233	713
前年度からの繰越額 (d)	0	0	189	0	0	100
支払済額 (e)	13	219	223	0	133	
翌年度繰越額 (f)	0	189	0	0	100	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	_	-	-	-	-	

[※] 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)



都市再生整備計画(第4回変更)

賑わいの都市部エリア地区 (都市再構築戦略事業)

長野県 駒ケ根市

令和2年3月13日

[・]様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	駒ヶ根支	地区名	賑わいの都市部エリア地区(都市再構築戦略事業)				115.7	ha
計画期間	平成 26	6 年度 ~	令和 元	年度	交付期間	平成	26 年度 ~ 令和	元	年度	

目標

大目標:都市部エリアへの都市機能の集約により、中心拠点区域の活力と賑わいを創出する。 小目標①:保育園と子育て世代活動支援センターの整備による新たな都市機能の充実を図る。

小目標②:交通網の整備による交通利便性の向上を図るとともに、歩行者にとって優しい歩行空間の充実を図る。

小目標③:災害に強く、安全安心で快適に暮らせるまちづくりを推進する。

目標設定の根拠

|都市全体の再構築方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための再構築方針)

┃少子高齢化の進展、人口減少時代を背景に、コンパクトシティの概念を都市計画マスタープランに位置づけるとともに、郊外に広がった都市構造の再編を目的として、持続可能なまちづくりを推進するため、都市機能を集約したコンパクトシティプランを |掲げている。JR駒ヶ根駅周辺地域を中心とした一帯を「中心拠点区域」に位置づけ、その拠点区域内に南田市場土地区画整理事業及び国道153号伊南バイパス整備事業を実施した区域を「都市再生整備計画区域(以下「整備計画区域」という。)」と 設定し、その整備計画区域に保育園と子育て世代活動支援センターなどの施設整備を行い、中心拠点区域における都市機能の充実を図り、活力と賑わいを創出する。 既に整備計画区域内では、民間活力により良質な住宅地の供給が図られるとと |もに、医療機関や福祉施設等が集約され都市構造の再編が進みつつあり、当市が直面している人口が減少傾向にある中で、この区域においては、人口の増加が引続き見込まれる地域である。

また、JR駒ヶ根駅を中心とする既成市街地は、空き店舗や空き地等が点在し、まちなかの空洞化が進んでいる状況にあるが、最近、民間事業者によるまちなかの再整備への検討が行なわれ、本事業計画期間内に、工事完了予定で計画を進めて おり、周辺地域の住民と一体となった新しいまちづくりへの機運が高まっている。そこで、既存ストックの有効活用を図りつつ、将来に渡って持続可能な既成市街地とするために、中心市街地に必要な都市機能(医療・福祉・教育文化・商業等)の再整備 を支援し、活力と賑わいのある市街地を形成する。

公的不動産の活用策であるが、老朽化した公共施設の建替にあたっては、中心拠点区域内にある公的不動産を活用するとともに、地域に必要な各種施設との合築など複合型拠点施設として再整備を進めるなど都市機能の集約化を促進する。ま た、移転により発生する郊外部の跡地については、都市機能の拡散につながることのないよう、土地利用計画に基づいた適切な立地を誘導し、これらの施策により、都市機能の拡散防止を図る。更に立地適正化計画に基づき、中心市街地の都市機 能を更新し、適正な配置を行うことで、まちなかへの居住を誘導し、持続可能な都市構造の実現を目指す。

まちづくりの経緯及び現況

第3次総合計画及ひ駒ケ根市都市計画マスターフランに基つき南田市場土地区画整理事業(S60-H21)や都市計画道路(H9-H19)、公園などの都市基盤整備を実施した結果、民間活力によって艮質な賃貸住宅の整備や優良住宅地の整備・供給 が図られ、定住人口の増加へとつながった。

・経塚保育園は、周辺地域の人口の増加に伴い未満児の就園が増加傾向で施設が手狭になっている。また、当該施設は、緊急避難施設に指定されているが築40年が経過しており老朽化が著しい施設となっている。こうしたことから、地域住民や保 護者からは、保育機能の充実に合わせて老朽化した施設の建替えが求められている。

・区画整理事業の事後評価では、市街化率が整備前は40%から整備後は65%となり、区画整理事業における市街化率の目標値である60%を5%上回り一定の評価を得ているものの、地域住民からは商業施設等や子育てについて、交流が行える 子育て支援施設の立地が求められている。このことから、整備計画区域として商業機能集積をはじめ、子育て世代の情報交流等を目的とした施設整備と、合わせて安全で安心な生活基盤整備を行い、中心拠点区域の活性化を図る。

駒ヶ根駅前広場は、中心市街地の空洞化により賑わいが減少しているが、駒ヶ根駅前の広場整備により、単なる中心市街地のにぎわい創出を目的とするのではなく、中央アルプス駒ヶ岳の観光の玄関口としてのもてなしのある駅前整備をとの住民 の要望がある。

・赤穂公民館については、旧市役所隣に併設していたものが現存しており、築44年が経過し老朽化と耐震強度に問題が出てきている。市民団体や利用者からは施設の建替え要望が出ている。

今後のまちづくり方策については、都市機能の集約化を推進するとともに、人が集まる場所や通行路における環境整備や、防災・減災機能の向上といった安全で安心な生活基盤整備を継続的に進め、良好で快適な居住環境の形成を図る。

土地区画整理事業や伊南バイパス整備事業による道路整備に伴い、隣接地区の道路改良や、道路整備が必要である。

- 都市再生整備区域内は、土地区画整理事業に伴い住宅地の供給を行った結果、若年世帯も増加傾向にあり、保育園や子育て世代活動支援センターの設置が求められている。
- 土地区画整理事業により、都市計画道路、公園など地域住民にとって良質な居住環境の整備を進めてきたが、今後予想される東海地震、南海トラフ地震等や、局地的な豪雨による土砂災害、水害等の非常時における救援・復旧活動の拠点となる避 難所の整備が必要である。
- ・JR駒ヶ根駅前の広場については、中央アルプス駒ケ岳との交通結束点でもあることもあり、観光客をおもてなす駅前広場作りが要望されている。
- ・赤穂公民館については、昭和43年建と古く、耐震強度の不足による早期建て替えの実施、及び利用者の会からの要望も高まり教育委員会に要望書も出されている。

将来ビジョン(中長期)

【総合計画】

- ・地域の防災活動や避難・救援活動の拠点となる建物の機能更新や耐震補強等を図ることによる安全・安心なまちづくりの推進。
- ・山岳景観やまちなみ景観と調和した都市景観の形成。
- 子育て家庭への情報提供と支援サービスを充実させ、子どもの健やかな成長を地域ぐるみで支えることにより安心して子育てができる環境の整備。

都市再構築戦略事業の計画

都市機能配置の考え方

本市の中心拠点区域は、郵便局や銀行、商店街などの商業・業務施設が立地するなど多様な都市機能を集積しているが、公共交通機関を活用し、更なる中心拠点区域の活性化(定住・交流人口の増加)を図るため、医療機関、子育て支援施設、商 業施設や観光案内所などを立地誘導し、集約することにより都市の活力と賑わいを形成する。

郊外については、広域的な幹線道路の整備による利便性を前提とした都市機能の集積が進んでおり、広域圏の基幹病院となっている昭和伊南総合病院や伊南行政組合本部北消防署など、広域圏の拠点機能を担うものについては郊外へ配置を行 う。ただし、宅地開発等においては、可能な限り土地利用規制による民間開発の抑制を行うなど、中心拠点区域に集約化を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な中心拠点誘導施設及び生活拠点誘導施設の考え方

整備計画区域は、土地区画整理事業の実施によって、良質な居住空間が形成され、子育て世代が暮らす地域へと発展し、幹線道路沿線への商業施設、サービス施設、福祉施設等を集約することにより、新たな拠点に相応しい土地利用が進み、更に 定住人口の増加が見込まれる。このことから、未満児受け入れ能力の拡充や子育て等の相談窓口の設置、親同士の交流機会、子育てに関する情報提供など、安心して子育てできる環境の充実を図るため、この地域に子育て拠点施設として、保育園 と保育園併設の子育て世代活動支援センターの整備を行うことで、当市の中心拠点区域である駒ヶ根駅周辺地区に求められている子育て環境に係る都市機能を充実させる。

また、合わせて都市計画道路の中割経塚線の延長整備や隣接する生活道路を整備することにより、中心拠点区域や子育て拠点施設へのアクセスが容易となり、施設の利便性が向上するとともに、周辺の土地利用が活性化し、より一層、中心拠点 区域における定住人口の増加を図り、少子高齢化社会におけるコンパクトな都市構造の再編を目指す。

更に、民間活力による良質な住宅地の供給との相乗効果により、民間活力を活かした都市構造の再編につながることが期待できる。

|都市再生整備計画の目標を達成するために必要な交付対象事業|

- ・高次都市施設(都市再構築戦略事業)(子育て世代活動支援センター)…中心拠点施設(保育園)と子育て世代活動支援センター併設による子育て拠点施設を整備し、子育て世代の交流・活動支援を行なうことにより都市機能の充実に寄与するもの である。
- ・地域生活基盤(都市再構築戦略事業)(駅前広場)・・・交通結節点としての拠点機能を向上させ、交通手段相互の乗り換え及び歩行がスムーズに行え、日常生活の中で人々が憩い、集い、語らう場となるようJR駒ヶ根駅前を整備し、交流機能の充実 により都市再構築に寄与するものである。
- ・高次都市施設(地域交流センター)及び中心拠点誘導施設(社会福祉施設)・・・地域住民の集いの場である地域交流センター(赤穂公民館)と社会福祉施設(つくし園)を駒ヶ根総合文化センターへ併設(合築)することにより住民の交流や賑わいの場 |所としての相乗効果を創出する。併せて災害時の避難施設としての利用を行う。

|目標を定量化する指標

指 標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
子育て世代活動支援センター整備 に対する市民満足度調査	Pt		子育て世代活動支援センターの整備を行うことで、施設に対する 魅力の向上を図る。 目標値(従前値の7%増し)	3.11	H23	3.32	R1
子育て世代活動支援センターの利 用者数	人/年		子育て世代活動支援センターの整備による、子育て世代の支援を行う。目標値(従前値の増し)	0	H25	5,000	R1
保育施設整備に対する市民満足 度調査	Pt		目標値(従前値の9%増し)	3.07	H23	3.34	R1
駅前広場整備や商業施設整備に 対する市民満足度調査	Pt	地域住民アンケートで 中心市街地の活性化に向けた取り組みが行われている」という満足度の問いに対する評価	地域交流センターや駅前広場、商業施設整備により、中心市街地 における活性化を図る。目標値(従前値の8%増し)	2.53	H25	2.75	R1
安全性・安心度に対する市民満足度		がある」という満足度の問いに対する評価	公共的な施設整備による、災害拠点施設の機能の強化を図る。目標値(従前値の3%増し)	3.15	H23	3.30	R1
地域交流センターの年間利用者数		// 12 × 10,200 ()	地域交流センター(赤穂公民館)の整備による利用者数目標値	41,703	H23	43,233	R2
社会福祉施設の年間通所者数	人/年度	社会福祉施設(つくし園)のH24~H28年度平均利用者延 べ数 3,150人/年度の維持	社会福祉施設(つくし園)の整備による通所者数目標値	3,150	H24~H28平均	3,150	R2

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【保育園と子育て世代活動支援センターの整備や商業施設整備および地域交流センターの整備による新たな都市機能の充実を図る。】 ・区域内の低未利用地を取得し、経塚保育園の移転建設を進める。 ・子育て世代活動支援センターを新たな経塚保育園に併設し、都市機能の集約化を進める。 ・民間事業者による中心拠点区域内での商業施設整備を支援し、都市機能の集約化を進める ・地域交流センター及び社会福祉施設を中心拠点区域内の駒ヶ根総合文化センターに集約整備し、都市機能の集約化を進める	【基幹事業】 ・中心拠点誘導施設:保育施設整備(経塚保育園) ・中心拠点誘導施設:商業施設整備 ・中心拠点誘導施設:社会福祉施設整備(つくし園) ・高次都市施設(都市再構築戦略事業):子育て世代活動支援センター ・高次都市施設:地域交流センター施設整備 【関連事業】 ・駒ヶ根都市計画事業南田市場土地区画整理事業 ・公営住宅等整備事業(建替)
【交通網の整備による交通利便性の向上を図り、歩行者にとって優しい歩行空間の充実を図る。】 ・交通結節点機能としてのJR駒ヶ根駅を中心に、子どもから高齢者までの幅広い世代が、楽しみながら回遊できるまちなかの賑わいを創出するための計画策定。 ・交通結節点機能としてのJR駒ヶ根駅広場を整備し、幅広い世代が集う賑わいのある街なかを創出する。 ・地域防災、防犯対策を推進するため、自治組合等が行なう防犯灯の設置等に要する経費の補助を行なう。	【基幹事業】 ・地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業):駅前広場 【関連事業】 ・駒ヶ根都市計画事業南田市場土地区画整理事業 【効果促進事業】 ・駒ヶ根駅前広場計画策定 ・無電柱化に伴う広小路沿道街並計画策定 ・まちづくり計画調査
【災害に強く、安全・安心・快適に暮らせるまちづくりを推進する。】 ・緊急避難施設として利用する経塚保育園の整備を図る。 ・緊急避難施設として利用する地域交流センター及び社会福祉施設の整備を図る。	【基幹事業】 ・中心拠点誘導施設:保育施設整備(経塚保育園) ・中心拠点誘導施設:社会福祉施設整備(つくし園) ・高次都市施設:地域交流センター 【効果促進事業】 【関連事業】 ・駒ヶ根都市計画事業南田市場土地区画整理事業 ・公営住宅等整備事業(建替)

事業実施における特記事項

【まちづくりの住民参加】

- ・現在、地区内には、「赤須町部自治会」「本町、仲町商店街」「広小路商店街」「商工会議所」「あつい駒ヶ根」「商連こまがね」等の関係機関や団体により、「祇園祭」「子育て地蔵尊すくすく縁日」「KOMA夏」「ゆかたまつり」「駒盆」「「駒ヶ根商工祭り」「駒ヶ根ベンチャーズの演奏会」等の地域にあった事業を行ない、中心市街地の活性化と賑わいの創出に努力している。
- ・平成25年度より、中心市街地を発着点とした、信州駒ヶ根ハーフマラソンを企画し、中心市街地への集客を行っている。
- ・商店街、商連こまがねなどの活動団体による植栽、「花で商店街を彩る」事業の実施
- ・合コンイベント「駒コン」や飲食店を巡るイベントを市街地を中心に行っている。
- ・中心市街地の活性化を図るべくまちづくりの検討会「駒ヶ根テラス」の活動が始まった。

【官民連携事業】

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費 2,8	05.0 交付图	艮度額	1,40	02.5	国	費率	0).5				(人好の光仕はまま四)		
事業												(金額の耳	単位は百万円)	
中 ★	事業箇所名	事業主体	直/間	規模		事業期間		内事業期間	(参考)全体	交付期間内			交付対象	費用便益比
神			+		開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費	うち官負担分	うち氏貝担分	事業費	B/C
道路														
公 <u>園</u>														
古都保存·緑地保全等事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業)	駅前広場	駒ヶ根市	直	5,010m²	27	31	27	31	346.8	346.8	346.8		346.8	_
高質空間形成施設														
高次都市施設(都市再構築戦略事業)	子育て支援センター	駒ヶ根市	直	400 m ²	26	28	26	28	187.3	187.3	187.3		187.3	-
高次都市施設(都市再構築戦略事業)	地域交流センター	駒ヶ根市	直	2,213.33m ²	30	31	30	31	1,378.0	1,378.0	1,378.0		1,378.0	_
中心拠点誘導施設	保育施設整備	駒ヶ根市	直	1,100m ²	26	28	26	28	515.1	515.1	515.1		515.1	_
中心拠点誘導施設	商業施設	民間事業者	間	3,183.35m ²	26	28	27	28	474.8	109.2	72.8	36.4	72.8	_
中心拠点誘導施設	社会福祉施設	駒ヶ根市	直	732.07m ²	30	31	30	31	305.0	305.0	305.0		305.0	1.11
連携生活拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														
高齢者交流拠点誘導施設														
既存建造物活用事業(高次都市施設)														
土地区画整理事業			1											
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業			1											
バリアフリー環境整備事業			+											
グリングー 環境登備事業 優良建築物等整備事業			+				-							
			1											
拠点開発型 住宅市街地 総合整備型			1											
事業														
耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備												絣	で合したB/Cる	を記入してくた
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														$\overline{}$
合計									3,207.0	2,841.4	2,805.0	36.4	2,805.0	1.11
ミ事業(継続地区の場合のみ記載)														
事業 (事業箇所名	 事業主体	直/間	規模		事業期間		内事業期間	(参考)全体	交付期間内			交付対象	
細項目		サベエバ	E / 101	79612	開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費	うち官負担分	うち民負担分	事業費]
地域創造														
支援事業]
~\mu_{\pi}^{\pi}														
事業活用調														
査														
まちづくり活														
動推進事業														1
合計									0		0 0	0	(…в
				-								合計(A+B)	2,805	
考)関連事業														•
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模			かに〇)			期間	全体事業費			
要不 刷7依都印引					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度				
*	南田市場地区	駒ヶ根市	国土交通省	A=40.8ha		0		ļ	S60	H21	7,545			
公営住宅等整備事業(建替)	経塚地区	長野県・駒ヶ根市		A=7,797.8ha		0			H22	H29	971			
効果促進事業	駒ヶ根駅前広場計画策定	駒ヶ根市	国土交通省			0			H26	H26	4.1			
	無重サルに伴る広小吸の組み両竿ウ	駒ヶ根市	国土交通省	1	Ī	0		1	H26	H26	4.2			
効果促進事業	無電柱化に伴う広小路沿線計画策定	同りフィスココ	国工人也自									4		
効果促進事業 効果促進事業	まちづくり計画調査	駒ヶ根市	国土交通省			0			H26	H28	12.9			
		駒ヶ根市								+				

賑わいの都市部エリア地区(長野県駒ヶ根市) 整備方針概要図

大目標 都市部エリアへの都市機能の集約により中心拠点区域の活力と賑わいを創出する。

小目標① 保育園と子育て世代活動支援センターの整備による新たな都市機能の充実を図る。

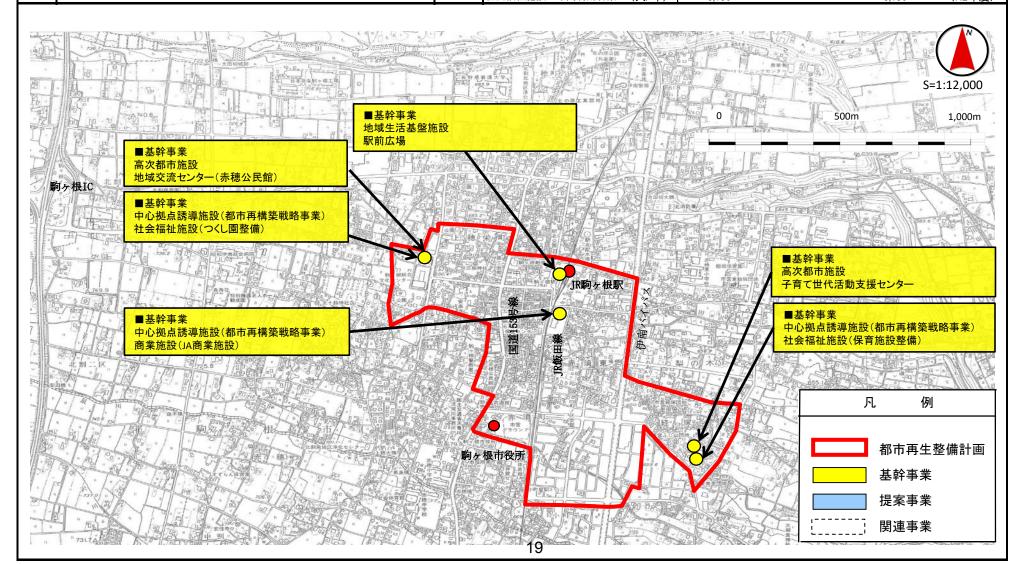
小目標② 交通網の整備による交通利便性の向上を図るとともに、歩行者にとって優しい歩行空間の充実を図る。

小目標③ 災害に強く、安全安心で快適に暮らせるまちづくりを推進する。

目標

代表的な 指標

	保育施設整備に対する市民満足度	(Pt)	3.07	(H23年度)	\rightarrow	3.34	(R1年度)
٠,	子育て世代活動支援センターの利用者数	(人/年)	0	(H25年度)	\rightarrow	5,000	(R1年度)
ሖ	安全性・安心度に対する市民満足度	(Pt)	3.15	(H23年度)	\rightarrow	3.30	(R1年度)
	地域交流センターの年間利用者数	(人/年)	41,703	(H23年度)	\rightarrow	43,233	(R2年度)
	社会福祉施設の年間利用者数	(人/年)	3,150	(H24~28年度平均)	\rightarrow	3,150	(R2年度)



都市再構築戦略事業事業

